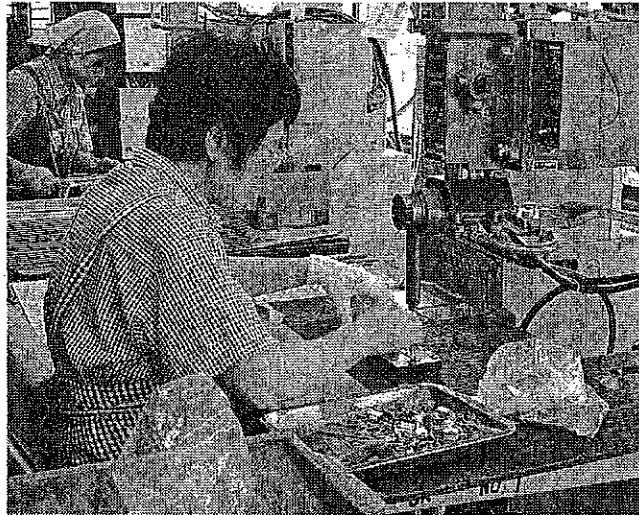


# 独自「T S O」認証へ

燕商工会議所は10日、燕市内の小規模事業者を対象にした独自の品質管理認証事業「ツバメ・スタンダード・オーガナイゼーション」(T S O)を始める。品質管理の国際規格「ISO9001」の重要項目をピックアップした簡略版。低コストで市内産製品の品質を底上げし、「ツバメ」ブランドの強化につながる狙いだ。同商議所によると、地域独自で品質管理基準を定めるのは国内初という。

## 「ツバメ」ブランドを強化



燕市内の金属加工工場。産業界では地域ブランドの向上につながるとT S Oへの期待が大きい＝燕市

燕商議所

### 品質管理のISO 簡略化でコスト減

T S Oの導入は、同商議所の工業部会が提唱した。ISOの取得には数百万円のコンサルティンク費用や労力がかかるため小規模企業には負担が重く、安価でできる独自の簡易認証を作ることにしたという。

T S Oは、ISO取得にかかる行程を抜粋し、製造管理や設備管理など各部門の重要項目に絞った。コンサルタントから研修を受け、各社で管理マニュアルを作成。同部

会などが現場を訪れ、マニュアル通りに作業を進めているか確認する。最長、半年ほどで取得できる。

認証取得にかかる費用は数十万円を想定。毎年約40社ずつ認証を進める見込みで、来年2月に最初の認証を行う。T S O取得後は、適切な管理体制を維持するため定期的に研修を受け、ISO取得への足掛かりとする。

同部会の山後春信部会長は「ISOの簡略版だが、多くの企業が参加することで燕市産製品全体の品質証明になる」と強調。レベルアップにより、関係業界からの信頼も深まると期待した。

事業開始に伴って10日午後7時から、同商議所で説明会を開く。参加無料。9日まで申し込みが必要。申し込みは同商議所産業観光課、0250(63)4116。